



理念


- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす



うえをむいて あ、 そら
こんには
したむいて お、じめん
こんには
みぎをみて ほ、風がふく
こんには
ひだりみて わ、いいにおい
こんには
いろんなものが
わたしのまわりで
おたがいに
「こんには」と いる
これが 「いる」 ってことかな
これが 「いきる」 ってことかな

じぶんのための子守歌
著

工藤直子

朝夕の寒暖の差で、衣服の調整に悩む毎日かと思えます。日中は涼しい日もあり、園庭や散歩と外遊びの活動が多くなりました。思いっきり体全体を使って遊んでほしいと思えます。

先日 23 日に行われた国連気候行動サミットでスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんの演説内容を新聞で読みました。16 歳という年齢で各国首脳の前に、「二酸化排出量を半減したとしても、有害な大気汚染に隠れた温暖化の上乗せも、公平さや気候正義といった見方も含まれていない」と主張し「みなさんが口にできることと言えば、お金のことと経済成長は永遠に続くというおとぎ話だ」「みなさんは私たちを失望させつつある。しかし、若者はみなさんが自分たちを裏切っているということを理解し始めている」「もし私たちを裏切ることを選ぶなら言おう、私たちはみなさんがこの問題から逃げることを許さない。ここで今、一線を画すべき時だ。世界は目覚めつつある。そして変革は起こりつつある」と。(一部抜粋)

小鳥の森保育園の理念として、一番に「子どもの最善の利益を守る保育園」としています。子どものしあわせを願うことです。今回この記事を読んで、勇気あるグレタさんの演説に感銘を受けました。地球温暖化防止にむけて、自分ができることは何かと深く考えさせられました。子どもたちの未来を考えると、私たち大人がすべきこと、何ができるのか、模索して行動につなげていきたいと思えます。

10月の予定

月	火	水	木	金	土	日
	1 産前産後体験保育	2	3	4	5	6
7	8 体験保育	9	10 健康診断	11	12	13
14 体育の日	15 体験保育※	16 遊ぼう会予行演習	17 身体測定	18	19 親子で遊ぼう会※	20
21	22 体験保育	23 5才児園外活動※	24 健康診断	25 幼児誕生日会	26	27
28	29 わらべうた 地域講座※	30	31			

※19日(土) 親子で遊ぼう会 (全園児対象)(カメラマンの撮影があります)

各年齢によって集合時間が違います。詳しくはクラスのおたよりなどで確認してください。

※15日(火) 体験保育 栄養士の話し(試食 200円)
(その他の体験保育、産前産後は育児相談になります)

※23日(水) 5才児 園外活動で武蔵野市立吉祥寺美術館に行きます

※29日(火) 地域講座 加藤先生「わらべうたであそぼう」

※10月下旬に幼児のさつまいも掘りがあります。畑の方の都合がつき次第日程の連絡をします。



お知らせ

* 幼児クラスの保育料無償化に伴う給食費の引き落としの手続きが予定より早めに完了できそうです。
郵便局の口座振替依頼書を近いうちに配布しますので、手続きの方、よろしくお願いします。



「げんき」の学習会がありました

今回は保護者向けと職員向けに2回に分けてお話してもらいました。保護者の参加者が7人でとても良かったとの感想でした。職員もほとんどが参加出来、日頃の保育にとっても参考になったようです。参加者の感想を一部ご紹介します。

子どもを叱る時にどうしたらいいか迷っていたので、子どもの気持ちを汲み取って伝える事が大事だという気づきがあり良かったです。 保護者

子どもを肯定的に育てるために親自身も自己肯定感を高めることが大切だと改めて振り返る、いい機会になりました。 保護者

実際、ワークで親子の立場になってみることでよりどうしたら良いかという子どもとの関わり方がわかりました。 保護者

子どもだけでなく、大人対象にも応用できる話だと感じました。 保護者

3姉妹がいます。一番下の子は本当にしっかりしていて助けてもらっています。長女は思春期、次女に手をかけ大事にしてきましたが難しいなあと感じる日々です。今後も親子で成長したいです。 保護者

どうしても気になる部分ばかり目がいきがちになってしまっていますが、プラスの声掛けや「褒める」ことで自信をつけてあげることが大切だと感じました。「当たり前に出ていることが、実はすごくいいところ」という言葉が心に残りました。 フリー保育士

出来たことを言葉にして評価してあげるだけでなく、これからやろうとしている行為に対しても言葉にして伝えてあげること
でやる気につながるという言葉がとても響きました。

1 才児保育士

大人の言葉がけ一つで子どもの次の行動が変わることがある事を改めて感じました。その子がどうしたかったのかを大人
が読み取ることが大切なんだと思いました。小さな成功体験の積み重ねで子どもの成長を促せるようにしていきたいです。

2 才児保育士